

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科	
科目名称 [英語名称]	教科教育法(社会) [Teaching Methodology for Social Studies]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750091	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次	
教員氏名	酒井 喜八郎				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP2(1) DP2(2) DP3(1) D P3(3)		
授業概要	<p>・小学校教師に必要な社会科授業の構想力・授業設計力・授業実践力を培うことを目的とする。</p> <p>・小学校社会科授業の目標、新学習指導要領(平成29年3月公示)、科学的な社会認識形成を目指す社会科授業設計論について講義する。</p> <p>・子どもたちにとって身近な生活や景観から「なぜ?」と探究し社会認識を深める地理・歴史の授業づくり、主権者意識や意志決定力を高める公民の授業づくりの方法を中心に講義する。</p> <p>・実際に学生がグループで協同で模擬授業をすることで、小学校教員として求められる社会科の&lt;授業力&gt;の育成を目指す。</p> <p>・グローバル化・高度情報化社会に対応できる&lt;批判的思考力&gt;・&lt;コミュニケーション力&gt;などの21世紀型学力(ATC21s)を培うため、討論・ディスカッションを重視する。</p> <p>・折に触れ、最新の国内や海外の社会系教育の現状や課題を取りあげ、学校現場の実践・研究の両方の視点から考察していき、生涯学び続ける社会科教員の育成を目指す。</p>							
関連する科目	履修後は、後期の「社会」(選択科目)を履修することが望ましい。							
授業の進め方と方法	15回の講義の中で、小学校教員に必要な社会科授業づくりの方法について、主に前半を理論編、後半を実践編として進めます。理論編では、①社会科授業設計論②新学習指導要領との関連③地理・歴史・公民のポイントを、実践編では、模擬授業などのアクティブラーニングを行い、授業を省察し、相互に評価しあうことで、指導スキルを切磋琢磨します。またフィールドワーク(社会見学)で体験学習を実施し授業づくりに役立てます。予習としては、指導要領や教科書の熟読、模擬授業の準備、復習としては授業後にシヤトルカードを記入し、毎回の授業の省察をします。							
授業計画	<p>第1回:オリエンテーション、小学校社会科の目標 社会科の目標である公民的資質の育成について、社会科教師に求められるもの、について講義します。</p> <p>第2回:学習指導要領の変遷と現在の学習指導要領の要点 戦後から現在までの社会科学習指導要領の変遷と新学習指導要領の改訂の要点について講義します。</p> <p>第3回:小学校社会科授業の実践事例 優れた小学校社会科授業実践を紹介し、それぞれの授業についてディスカッションします。</p> <p>第4回:小学校社会科の授業づくり(中学年) 身近な生活や景観から地域素材を活用した授業づくりの方法を講義します。</p> <p>第5回:社会科フィールドワーク 社会科フィールドワークに出かけ体験学習をします。社会見学での体験活動を授業づくりに活かす方略を考えます。</p> <p>第6回:小学校社会科の授業づくり(高学年) 小5の産業学習や小6の人物中心の歴史授業、政治や経済学習の授業づくりの方法を講義します。</p> <p>第7回:社会科学習指導案の作成 社会科学習指導案の作成の方法について、知識の獲得の視点から考える社会科授業設計の理論について講義します。</p> <p>第8回:模擬授業づくり(グループディスカッション)</p> <p>第9回:模擬授業① 模擬授業をグループごとに行い、それぞれの授業についてディスカッションします。</p> <p>第10回:模擬授業② 模擬授業をグループごとに行い、それぞれの授業についてディスカッションします。</p> <p>第11回:模擬授業の評価及び省察と授業改善 模擬授業①②を総括して省察し、今後の授業改善について考えます。</p> <p>第12回:海外の社会科教育実践や研究の動向 アメリカ、イギリス、オーストラリアなどの海外の社会科教育実践や研究の動向について講義します。</p> <p>第13回 授業研究① 逐語授業記録をもとに、子どもの思考システムや子どもどうし・教師との相互作用について講義します。</p> <p>第14回 授業研究② 逐語授業記録をもとに、教師の指導方略や意志決定について講義します。</p> <p>第15回 まとめ 社会科授業について、これまでの学習を振り返り話し合いをします。</p> <p>※授業終了後、毎回、講義シヤトルカードを配布し、主要な感想や質問には次回の授業の開始時に振り返ります。また、模擬授業では、教師の視点からと研究者の視点からと両面から分析考察していきます。</p>							
授業の到達目標	<p>1 小学校社会科教育の学習指導要領や教科書の内容を学ぶことで社会科教育の目標と内容を理解することができるようになる。</p> <p>2. 小学校社会科の授業構想力及び社会科学習指導案の作成力を身につけることができるようになる。</p> <p>3. 小学校社会科の授業に必要な発問や板書などの指導スキルを身につけることができるようになる。</p>							
授業時間外の学修	1・景観レポート課題の作成 2 プレゼンなどのグループ課題の発表準備 3 模擬授業の準備							
課題に対するフィードバック	小テスト・レポートを相互評価します。			評価方法		毎回の授業への取り組み・意欲態度(10%)随時行う小テスト(10%) 模擬授業と課題レポート(50%)、最終レポート(30%)を総合的に評価する。		
テキスト	1 『小学校学習指導要領解説 社会科編(文部科学省) 2 地図帳(帝国書院) ※全員準備して授業に持参すること。地図帳は新学習指導要領にも小3~6までの活用が盛り込まれたので必須である。							
参考書	・岩田一彦(2001)『社会科固有の授業理論』明治図書 ・山口幸男他編(2016)『地理教育研究の新展開』古今書院 ・日比裕・的場正美(1999)『授業分析の方法と課題』・教育雑誌『社会科教育』明治図書							
備考	・随時、講義の中で必要と思われる資料プリントなどを配布するので、ファイルを用意し毎回綴じていく。 小・中学校において社会科教育に携わっていた教員が担当する。							